



コミュニティ・スクール(CS)だより 第6号

■2年目のコミュニティ・スクールを振り返って■

昨年度の課題を踏まえ、緩やかながらもコミュニティ・スクールの取り組みを進めてきました。その中の一つとしてまちづくり協議会との連携を深め「中部っ子まつり」を通して地域と学校の結びつける取り組みを模索しました。改善点はあるものの次年度につながる事業になったと思います。しかしながら2年目を終えようとする現在も「中部小学校がコミュニティ・スクールであることは知らない。」「コミュニティ・スクールって何?」という声も聞きます。コミュニティ・スクール便りを地域回覧していただくだけでなくホームページに載せる等コミュニティ・スクールを認知していただく工夫はしていますがまだまだ十分とは言えずどのように伝えていくかは大きな課題だと感じています。



また、教職員のみなさんに「コミュニティ・スクールに関するアンケート」を実施したところ、「地域住民や保護者のみなさんに学習支援やゲストティーチャーをお願いしたい」とほぼ全員が思っていることが分かりました。その要となる学校を支援するボランティア（サポーター）拡充については人数も昨年に比べ少し増え、子どもたちも学校も来ていただくことを大いに喜んでいますが、相変わらず「学校は敷居が高い」「子どもとどのように接していいか戸惑う」といった考えは依然として強いようで、ボランティア（サポーター）の人数が思ったように増えない点もやはり課題として残りました。

成果だけでなく、新たな課題も次々出てきていますが無理なく甲南中部学区の強みを生かしながらよりよいコミュニティ・スクールを目指していききたいと思います。

コミュニティ・スクールの究極のねらいは「地域の力を子どもに！子どもの力を地域に！」そしてともに子どもも地域も元気（活性化）になることだと考えています。

【本年度の取組の様子】



【第2回地域学校協働本部会議の概要について】

■日 時 2025.2.28 (水) 19:00～20:15

■場 所 校長室

■参加者 協働本部委員 15名 学校職員 3名 コーディネーター 計19名

1 はじめに (学校長あいさつ)

2 コミュニティ・スクールと協働本部活動の状況について

資料を基にコーディネーターが「コミュニティ・スクールと協働本部活動の状況」について説明しました。

3 令和6年度の各地域・各団体の取組について

各地域・団体の代表者から本年度の子どもと関わる取組や子どもの様子について報告していただき情報交換を行いました。

4 意見交流

- ・例年と同じ活動をしているので学校から意見をもらえるとありがたい。
- ・後継者不足が大きな課題である。スクールガードの人数が減っている。→協働活動で取り組めないか。
- ・外に出て遊んでいる子が少なくふれあいが少ない。普段からの子どもたちとのふれあいが必要と感じる。
- ・あいさつをする子の数が減っている地域もある。→家庭との連携が重要。
- ・子どもたちに感謝の手紙をもらえてうれしかった。→手紙がふれあいになる。

5 おわりのあいさつ (副本部長)



【第5回学校運営協議会の概要について】

■日 時 2025.3.5 (水) 19:00～20:00

■場 所 校長室

■参加者 学校運営協議会委員 6名 学校職員 3名 計9名

1 はじめに (学校長あいさつ)

2 次年度学校経営計画について

学校長より来年度の現時点での学校経営構想について資料を基に示されました。そのことについて各委員より様々な角度から意見をいただきました。→今年度末までに様々な意見を参考に学校は次年度の構想を練っていく予定です。

3 本年度のコミュニティ・スクールを振り返って

コーディネーターがまとめた資料を基に本年度の取組について説明をしました。→「あいさつの状況」「地域への広報のあり方」「ボランティア(サポーター)の拡充」等の観点から様々な意見をいただきました。これらの意見を参考に次年度のコミュニティ・スクールの取組について計画していく予定です。

4 おわりのあいさつ (田中会長)